

ポカリ新CM徹底分析!

POCARI

2023年4月7日(金)新CM放映開始00:01号 令和5年4月7日

生きている
味がする。

椿×池端杏慈

ポカリスエットCM史上初のWヒロイン

ロケ地レポート
海外編・国内編

完全独占!
撮影直後のインタビュー

オフショット満載!!
石田真澄

PICK UP
田中嗣久(演出)
瀧本幹也(撮影)

CM主題歌「青が舞う」

新CM
「青が舞う」篇

4月7日(金)
ミュージックステーション
(テレビ朝日系列)
にて公開!

「青が舞う」

作詞・作曲・編曲：飛内将大

夢が僕らを 追いかけるように
 時が僕らを 追いかけるように
 走れ走れ 走り続けよう
 はじまりの歌が 聴こえてくる
 雨が降っても 空に歌おう
 明日は眩しい 晴れ模様
 光の中へ

夢が僕らを 追いかけるように
 時が僕らを 追いかけるように
 走れ走れ 走り続けよう
 はじまりの音が 響いている
 夢が僕らを 追いかけるように
 時が僕らを 追いかけるように
 走れ走れ



3日前に「北谷さんでいきなりたいと思います！」って連絡がきて…

歌の録音を終えたばかりの北谷さんに今の心境をインタビューした。



—話を聞いたときどう思いました？

マネージャーさんと共有している仕事用のメールアドレスがあって、そこに「CM案件」というタイトルで連絡が来ていて、詳細を聞いたらポカリのCMだったことでビックリして。他にも何人か候補がいるという状態だったので、オーディションみたいな感じかなって。まさか採用されるとは思っていなかったのだから、やれるならやろう！って感覚でいました。

—ポカリのCMに対してどんなイメージがありましたか？

今まで歌っている人や出演してる方たちもポカリのCMに出たら大成するみたいなものがあるので、そこからオフアークがくるだけでも、うれしいと思っていたので、まあ落ちてもこれからはがんばろう…みたいな感じでした。

—決まった時はどんな気持ちでしたか？

候補の人が全員歌って、その中から誰にするか決めるんだと思っていただけで、3日前に急に「北谷さんでいきたい」と思えます！「って連絡がきて、スタジオに着いてから担当の方に「これ僕が歌う…？え、僕で決定なんですか…？」って聞いて「そうだよ」って言われて、やっと確信したというか、実感が湧きました。

—歌詞の好きな部分はありますか？

最初の「夢が僕らを追いかけるように」「時が僕らを追いかけるように」というのは、僕もまだ夢を追っている段階なので、なんか重ね合わせられる部分がありました。個人的には「雨が降っても」で、メロディが一回下がるところがすごく好きですね。「雨が降っても 空に歌おう 明日は眩しい 晴れ模様」

は普段、作詞作曲をしている僕もすごく参考になるメロディと歌詞だなって思いました。

—CMの仕事は初めて？

初めてです。テレビに出る…というか、僕は出ないですけど、自分の曲をリリースしたことはあっても、テレビに自分の歌が流れることや、こういう取材とかは初めてですね。

—これからやっていきたいことは？

まずは自分の曲をたくさんの人に聴いてもらいたいですし、今回は作詞作曲して頂いているものを、歌ってるんですけど、これからは自分で作ったものを届けていきたいです。毎日できる限りのことをやっていて、最終的には武道館とかZeppツアーとか、生のお客さんを前に歌いたいっていうのは今のすごく大きな夢ですね。

インタビュー後、「これから何でもできますね」と声をかけると「やり続けたいですね！」と即答で返してくれた北谷さんは現在19歳。何かが大きく動き出す、はじまりを見た気がした。

北谷琉喜 (きただに・りゅうき)
 2003年、岐阜県生まれ。2022年初のオリジナル曲「青空」がSNSで反響を呼び、ストリーミングが300万再生を超える。心を揺さぶる歌声と言葉に注目が集まるZ世代SSW。
 TikTok: @tyatanutautai358
 Twitter: @KitadaniR
 Instagram: @ryu_singram7777





Anji

Tsubaki

杏慈は今、何してるのかな？って考えます（by椿）
目が合うとクシャッって笑うところが好き（by杏慈）
お互いを「杏慈」「椿」と呼び合い、その仲の良さは映像にも表れている。



— Wヒロインと聞いてどう思いましたか？

椿…同じくらいの子と共演することが初めてだったので、どんな感じになるんだろう？と色々考えたんですけど、相手が杏慈と知って、すごく嬉しくて、どういう風に撮るのかなって楽しくもありましたし、杏慈で良かったなあって安心もありました。

杏慈…私はまず「Wヒロインです」って言われた時に、相手誰!?と思って、すごく気になって。Wヒロインってどう撮影するんだろうっていうのはすごく感じていました。今日、撮影最終日でしたが、椿と楽しくやる事ができて本当に良かったです。

— 最初に会った時のお互いの印象は？

杏慈…初めて話したのはロケバスの中です。「兄弟何人いる？」とか「部活何してるの？」とか。話していくうちに、おしゃべりが大好きな子だなんて分かって、私もおしゃべりが大好きなので、そこはすごく気が合うなと思いました。

椿…杏慈を最初に見て「すごくかわいいな」って思いました。印象は、とにかく明るいなって。たまにテンションの上がりすぎて面白くて。明るく優しいお姉ちゃんみたいな感じです。

— 2人の仲良しエピソードを教えてください。

椿…花びらが汗でぬれて、顔にくっつくんです。で、お互い笑いながら「ついているよ」って取り合ったのが、本当に仲が深まったと思いました。

杏慈…ダンス練習の帰りに2人で、腕を組んで一緒に歩いていて。色んな話をして椿のことをすごく知れたので、仲良くなったなって思いました。

椿…話す度にお互いのことを知れて、会うたびに仲良くなっているなって思います。



— 撮影で楽しかったこと・大変だったことは？

椿…崖の上で撮影していた時、私すごい怖かったんですけど。

杏慈…ポカリ持ちながら。椿が「怖い！」って（笑）。

椿…助けてもらっていました。ずっと。

杏慈…私は、ワイヤーのシーンが楽しくて、ふわって高く上がった時に海の向こう側の景色まで見れたのが「自分だけが見れている特別な景色だな」と感じました。

— 「全力で過ごしている」「生きていく味がある」と思う瞬間は？

杏慈…好きなことをしている瞬間が全力だなんて感じます。

椿…私は部活の時です。友だちと協力して頑張って、最後にポカリを飲んだり。あとオーストラリアで暑いなか撮影した後に、ポカリを飲んだら生きていく味がするって思いました。

— 最後の質問です。10代のうちにやりたいことはありますか？

椿…初めて海外に行って英語が全然できなかったのが、勉強して少しでも上達して文で伝えることができたなって思います。遊ぶ系は、とにかくはしゃぎたいです。

杏慈…いろいろあるんですけど、一番は渋谷の大きな看板に出たいなと思って。渋谷は10代がたくさんいる街ってイメージがあるので、そこに出たいって思っています。

撮影お疲れさまでした！ありがとうございました！

撮影が休みの日も、プライベートで集まっておそろいのTシャツを買って行ったという2人。4月から杏慈は高校1年生。椿は中学2年生になった。2人の新しい春がはじまる。

池端杏慈（いけはた・あんじ）
2007年9月8日生まれ。
第25回ニコラ専属モデルオーディション
グランプリ。雑誌「ニコラ」専属モデル。
好きな季節は、冬。

椿（つばき）
2009年4月24日生まれ。
2022年6月事務所所属。
雑誌「GINZA」12月号表紙。
好きな季節は、春。





困難な仕事ほど燃えるけれど、それを超えるプレッシャーがあった。

数々の広告を手がける田中監督と瀧本カメラマンにとってポカリCMとは？



—企画を聞いたときどんな気持ちでしたか？

田中…気持ち…、素直な気持ちでいいんすよね？これまで多くの方が手がけてきていて、歴史があるじゃないですか、ポカリスエットの広告って。だからすごいプレッシャーで、普通は喜ぶべきところなんですけど、ちょっと躊躇しちゃいましたね。本当にやっていたのかなとか、やれるのかな？とか。普段だったら困難な仕事ほど燃えるんですけど、それを超えたプレッシャーがありました。

瀧本…8年前に中条さんの（ポカリCM・JUMP篇）を同じチームでやっていて、それが一発目だったんですね。ポカリの広告キャンペーンリニューアルの。以降どの作品も、監督も変わりつつも力が入った大きな作品になってきているから、そこを引き継ぐプレッシャーみたいなものはありました。けど、その延長線上にあるというよりかは、もっと上回らないといけない。期待されている感じもして楽しみではありました。

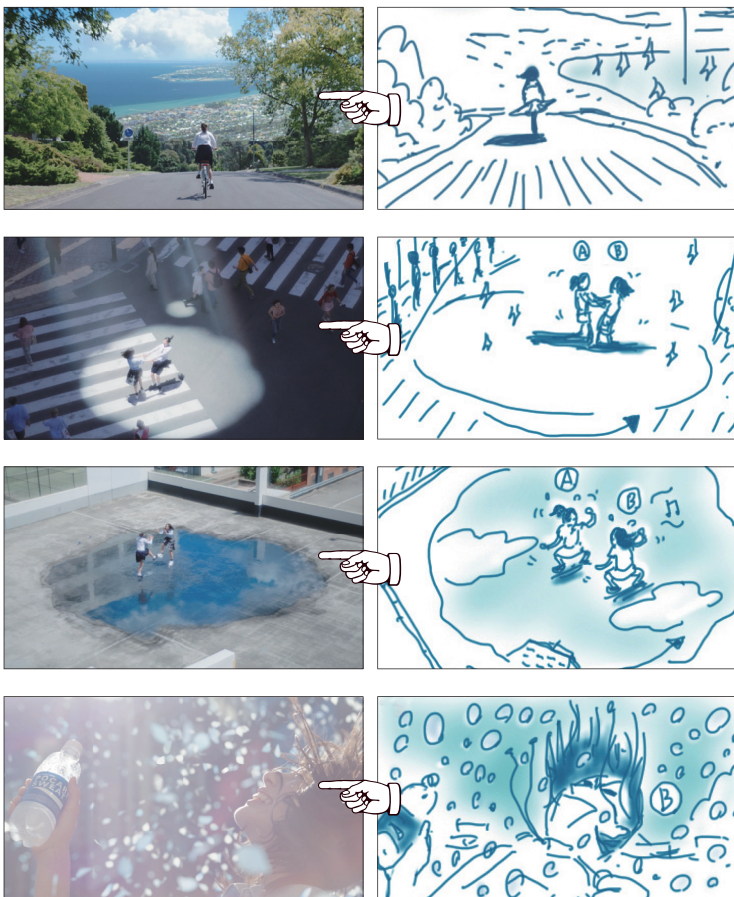
—こだわったポイントを教えてください！
田中…企画の捉え方としてはベタになる可能性があるじゃないですか。色んなシーンでポカリスエットを持ってずっと笑って…。映像としてみんなが驚くようなものにしなくちゃいけないのと、ベタにやらなくちゃいけないところとのバランスが難しかった。失敗しちゃうとベタなCMになりがちだから、それをちゃんと超えたものを作らないといけない。ある意味、究極の広告表現ではあるけれど、誰もがそこには手を出せないところまで踏み込んでいるから、こだわりはバランスにすごい気を遣ったというところ。と、難しすぎるゆえのプレッシャーに行き着くかな。

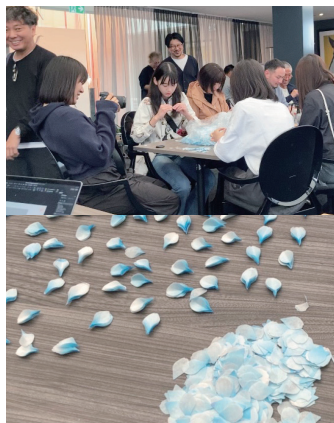
瀧本…究極に飲みたくなる明るいCMってどちらかというところと制作者は避けて通りがちなんですよ。それがクリエーターのエゴになりがちなんだけど。一般の人が見て憧れる世界、飲みたくなる衝動みたいなものを、もう一度スタート地点に立ち返って、純粋に明るく楽しくおいしそうであるということとゼロから考え直して作ったらどうなるだろうか、みたいな。それを広告的なことを避けて全部受け入れて強い表現とは何かできないだろうか。という企画だったんで、とはいえ普通の広告表現にはしたくないから、みんながわかりやすいものなんだけれど、記憶に残るものにする。そういう画作りにこだわりましたね。

—ポカリ初のWヒロインはどうでしたか？
田中…2人でよかったなと思うのは、初めから2人がすごく仲良くなってくれたことですかね。歳が違うのが逆によくて、姉妹のような関係になって、撮影に慣れていない椿ちゃんには、頼りになるお姉ちゃん（杏慈）がいて、すごくいい表情が撮れたなあって思いますね。

瀧本…ヒロインが1人だと、その人に引張られて感情にまで届かない感じもする。田中…たしかに。

瀧本…2人いることで楽しさとか、喜びとか、シズル感みたいなものがより出せて、それはWヒロインでよかったと思うところかな。





瀧本..今回、花びらを実際に舞わせて撮影しているんだけど、花びらが立体的になるようにきちんと手作業で折るつてのをキャストも含めてスタッフ全員で集まってやったことが一丸になれる機会ができてよかった。

田中..あれは一体感でたね。

瀧本..純粹にもものづくりしている感じが、ビジネスでやってる感じではなくやれたのがすごくよくて、そういうことが表情に表れているんじゃないかと思います。

—ポカリの撮影現場の雰囲気はどうですか？

田中..昔から知っているスタッフたち。仲良しだから楽しいですね。部活に近い感じかも。楽しいですね。チームワークがいいし。

—全力で生きていると思う瞬間は？

田中..俺はもう、このコンテ考えてるときかな(笑)久々に頭ちぎれるくらい考えましたね。

瀧本..オーストラリア・メルボルンのスタッフも国内スタッフもそれぞれがこの仕事を全力でやった感じはしますね。自分の持っている力以上のものを出さないとOKが出ない感じ。それはこの仕事を通して全力でやれた感じがする。ポカリならではの。今回、光のフレアみたいなものを撮影時に入れて撮ってるんですけど、それはポカリの液体の表現として、飲んだときに潤っていく感じみたいなものをポカリらしさとして狙ったところでした。

—撮影を終えてみてどうですか？
田中..たまにこういう仕事ってありますけど、ここまでの達成感の仕事ってあんまりないから、本当に全力でやってきたっていうのもあるし、もう一回同じことやられて言われたらもう勘弁って感じ(笑)

瀧本..ポカリロスになるみたいな感じありますね。みんなと一緒にやってきて、終わってしまうのがちょっとさみしい感じ。

田中..あ、いいこと言いますね。俺もそんな感じで(笑)

瀧本..もう勘弁じゃないんですか(笑)

田中..いや、すみません、ロスです！ロスです(笑)！



田中剛久 (たなか・つぎひさ)
1974年生まれ。
大塚製薬カロリーメイトをはじめ数々のTVCM作品を手掛ける。撮影現場で、いつも首にかけているストップウォッチはお守りとして持っている。使うことはない。

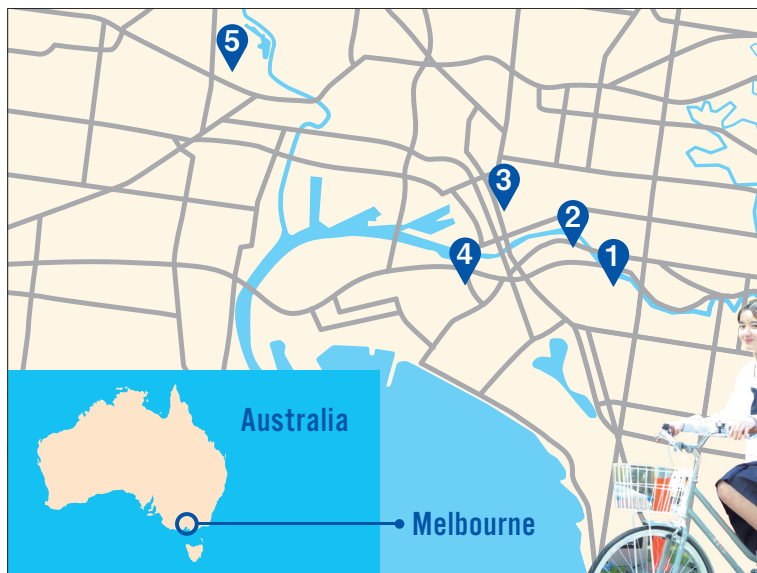


瀧本幹也 (たきもと・みきや)
1974年生まれ。
広告写真にとどまらず数多くの作品を国内外で発表。初のハウツー&エッセイ“あの写真ができるまで”『写真前夜』発売中。



撮影：瀧本幹也





2月上旬。海外と国内合わせて約2週間の撮影が行われました。夏のオーストラリアと真冬の日本。気温差は約20度。それでも連日天候に恵まれ無事に撮影できました。パチパチ(拍手)。

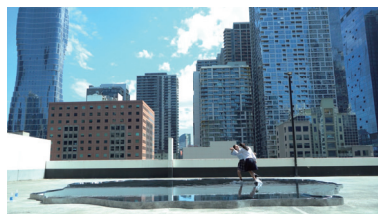
『杏慈と椿、初めての海外撮影!』あのシーンはこうして撮影されていた!ロケ地レポートをお届け!



【椿の全力自転車シーン】map①
右も左も豪邸が立ち並ぶ住宅地!庭にテニスコートがある家も!緑が多くどの家も玄関まわりにカラフルな花が咲いていました!まるで映画のような素敵な暮らし。数日だけでも住んでみたい!



【杏慈の全力ダッシュシーン】map②
ランニングやサイクリング、犬の散歩をする人、さらにボートの練習をする人で早朝から賑わっていました。朝日が登ると水面がきらきらと輝いて、光の通り道のような様子でした。



【水たまりダンスシーン】map③
ビルに囲まれた駐車場の屋上、水たまりの囲いは現地の美術スタッフが制作。国を越えてみんなで力を合わせて撮影に挑みました。練習を重ねたWヒロインのダンスに注目!



【おまけ①】
屋上でのダンスシーンの撮影前。日本にいる振り付け担当の志村さんとリモートで最終確認をする椿。画面の向こうから「大丈夫!イケる!!」と力強いエールが届きました。



【男女手つなぎシーン】map④
太陽の光の角度を計算して撮影。いちばん暑い日でした。キャストの2人は現地で生活をしている子たち。休憩時間にもポカ리를ゴクゴク飲んでくれています。



【おまけ②】
青い花びらは紙でできています。水に濡れると一瞬で溶けてしまうので大切に保管。よく見るとグラデーションになっていて、立体感を出すためにY字に折り目をつけました。みんなの良い思い出!



【高台シーン】map⑤
大きな岩の上にアンバランスに岩がのっている不思議な高野。山頂までの整備されていない道は激しく揺れて、車内では杏慈と椿が絶叫!別車両の衣装チームはカンガルーを見たいらしい。



【保田海水浴場】千葉県
2月早朝の海は冷え込み、撮影現場にはサウナ Tent が出現。浜辺に吊り用クレーン車が並び、男子生徒の飛びつきシーンと杏慈のポカリキャッチシーンを撮影しました。杏慈人生初のワイヤー。



【東京サンケイビル前】東京都
お天気雨の中、はしゃぐ男子生徒たちのシーン。ビルの隙間から太陽の光がさすタイミングを見計らった撮影。ハイスピードカメラで撮る雨は粒が光ってすごくきれい!



【おまけ③】
キラキラの正体。下の部分は一粒一粒、瀧本さんが透明な接着剤でつくっています。これぞ瀧本マジック…!(と現場で称賛の声があがっていました)恐るべし…!



【吾妻小学校前】茨城県
助監督の「位置についてよーいドン!」のかけ声と共に走り出す男子生徒たち。約50メートルを全力ダッシュ。それを追って撮影隊も必死のダッシュ。全員全力が合言葉です。



【足利スクランブルシティスタジオ】栃木県
交差点も改札も渋谷の風景そっくりに作られているこの屋外スタジオは、CM・MV撮影でよく使われる場所。壁一面がグリーンバックで合成しやすいようになっています。



圧倒的な熱量だったし、何より全員ちゃんと楽しそうだった。

今回の撮影で映像デビューを果たした写真家の石田真澄さんに話を聞いた。



石田真澄撮影
POCARI SWEAT
2023 Introduction
「杏慈」「椿」



—初めての映像撮影、やってみてどうでしたか？

—すごい楽しかったですし、それと同じくらい難しいことも分からないこともたくさんありました。

—どんなところが難しかったですか？

撮っているときと撮った後の編集っていう二段階あるのが、写真と違うところだなと思っていて。写真はレイアウトすることも考えて撮ったりもするんですけど、レイアウトによって大幅に変わるかっていうと、素材量も多いわけじゃないので、動画と比べると振り幅がそんなにないんですけど。メイキング動画って素材量がすごく多いし、どうやって編集していくかによって、方向性がかなり変わるから、撮りながら欲しい素材とか、足りてない部分を想像するのが難しかったですね。あとは、目の前で起きている事象から物語を見つける作業も難しかったです。

—写真と違って意識していたことは？

対面して声を撮るっていう作業は、写真にはないので、コミュニケーション取りながら、その一歩先の声を聞きながら、また声を受けて違う撮り方をするっていう、キャッチボールがあることが写真とは違った気がします。

—ポカリのCM撮影現場はどうでしたか？色んな話を聞いていたし、今までのメイキングも見ていたので、とんでもなく壮大で熱量があるってのは知っていました。でもやっぱり直接見ると圧倒的な熱量だったし、何より全員楽しそうだったのが、すごいなって思っていて、その様子を笑顔で見ちゃってました。楽しそうな姿を見て、夢を持てるというか、自分もそうでありたいなって思いました。

—なんとうれしいコメントを：(涙)

楽しい現場です、とは話に聞いていたけど本当にそうだったし、広告にちゃんと夢を持てるというか。環境はどんどん変わっていくけど、自分がやりたかった世界だし、こうして広告の写真を続けていきたいなって思える現場でした。



—ヒロインの2人について感じたことは？

10代前半の子たちってどんな子なんだろう？っていうのが最初あって。自分が14、15歳くらいのときって、大人と子どもって自分の中で分けちゃっていったと思うんですけど、2人とも私とコミュニケーション取ろうとしてくれていたし、楽しく撮影している姿が見れて私も嬉しかったですね。心身ともにすごくタフだなんて思いました。タフだからこそ、すぐに仲良くなっていたし、仕事にも前向きだなんて思いました。

—もうすぐ公開になりますますが今の気持ち

は？
仕事し始めて5、6年経つんですけど、ずっと同じことをくり返すことが、自分も楽しかったし、慣れるためにはそれが必要だと思ってました。だから、新しいことしてみようとか、機材変えようとか、全然違う撮り方してみようとか、自分からはしようと思っただけじゃなかったの、それが180度変わって、新しいことをやるきっかけになったからこそ、もっとやってみたいなと、終わってみたいと思いました。完成した映像を見ていたらまた誰かと一緒にやってみたくてすごく思いました。

—映像、ぜひまたやって欲しいです！

ううう、えー！(笑)はい。新しいことをやるきっかけができたので、続けていきたいなと思ってました。なんか緊張しますね。世の中に出るって。緊張します。

—石田さんのベストショットは？

全撮影の最後に撮った交差点のシーンは、マジックアワーを狙っての撮影で、時間が限られている中で、スタッフの一体感と光の中で、手をつないでまわる2人の声が響いている瞬間が印象的でした。

石田真澄 (いしだ・ますみ)
1998年生まれ。
10代の頃から写真を撮り始め、雑誌や広告などで活動。2021、22年にはポカリ夏の高校野球広告を手掛けている。漫画好き。
Twitter@Masumi_Ishida





撮影：石田真澄



【ボカリエット 2023 春 スタッフ】

企画制作社：電通+古川裕也事務所+なかよしデザイン+(つづく)+ドリル+SPOON

ECD：古川 裕也(古川裕也事務所)

CD/COPY：磯島 拓矢(電通)

CD/AD/PL：正親 篤(なかよしデザイン)

PL：保持 壮太郎((つづく))

COPY：藤曲 且子(ドリル)

CP：豊岡 将和(電通クリエイティブフォース)

PRプランナー：森野 亮 / 鶴岡 大和 / 横川 愛未(電通 PR コンサルティング)

デジタル・プランナー：伊藤 大悟 / 高橋 稜太 / 井口 萌香 / 佐藤 孝平(D2CR)

BP：村上 大介 / 福地 秀基 / 小杉 和香 / 清水 徹也(電通)

EPr：大桑 仁(SPOON)

Pr：佐野 大 / 小林 祐介(SPOON)

PM：増田 幹 / 服部 亜海 / 佐藤 秋香 / 掛井 南美(SPOON)

海外Pr：Jeremy Brown(Red sneakers)

海外PM：李 桃

演出：田中 嗣久

助監督：千代谷 健史(国内) / KENJI ARAKI(海外)

撮影：瀧本 幹也

照明：藤井 稔恭

特機：月村 恒宣

ドローン：請川 博一 / 田中 道人

DIT：木村 圭

美術：鎌山 清志

操演：島尻 忠次

アクションコーディネーター：横山 誠

シズル：秋山 友世

ロケーションコーディネーター：高橋 亨

スタイリスト：Remi Takenouchi

ヘアメイク：古久保 英人

振付：志村 知晴

キャスティング：増田 恵子 / パスカル ジャン(ギャンビット)

元川 益暢 / 福田 エミ / 秋山 和彦(ラバロ)

永原 恵太(イー・スピリット)

オフラインエディター：今村 徳孝

オンラインエディター：水野 正毅(khaki.inc)

オンライン応援：金園 智子(IMAGICA Lab.)

カラリスト：高橋 直孝(Lespace Vision)

CGプロデューサー：内藤 順一(Omnibus Japan)

CGディレクター：河村 有恒(Omnibus Japan)

ミキサー：清水 天務仁

音楽制作会社：愛印

音楽制作プロデューサー：山田 勝也(愛印)

■ Graphic

GRカメラマン：瀧本 幹也

GRレタッチ：栗山 和弥(クリーチャー)

GRデザイン：小鯛 太郎(J.C.SPARK)

GRコーディネーター：池田了(P.I.C.S.)

■ Introduction ムービー

演出・撮影：石田 真澄

編集：小林 真里(メガネフィルム)

PM：二井 梓緒(SPOON)






みんなで夏のCMに出よう!!

ポカリ
CM制作
フェス!

ポカリCM制作フェス!開催決定! 出演キャスト大募集!!

5/9
応募締切

ポカリ夏のCMをみんなでつくる1日限りの撮影イベントを開催します!
一人でも友だちとでも、クラスメートや部活仲間と一緒に参加もOK!
今しかつくりえない思い出をつくろう!ポカリな青春をしよう!

<p>開催日程</p>	<p>2023年6月10・11日(いずれか1日) 時間:9:00~18:00 ※うち7時間程度 場所:都内近郊 ※参加費無料 ※交通費・宿泊費は自己負担となります ※当日は現地集合です</p>	<p>スケジュール</p>	<p>5月9日 応募締切 5月下旬(予定) 選考通過連絡 6月3 or 4日 事前zoomミーティング(一部の役割の方は参加必須) 6月10or11日 ポカリCM制作フェス!本番 6月下旬 CM完成披露試写会@zoom 7月上旬 CMオンエア!</p>
<p>応募方法</p> 	<p>ポカリCM制作フェス!特設サイトにアクセス ①必要事項と意気込みを記入し、 保護者同意書をアップロードして応募完了 ②選考通過連絡(5月下旬予定)を待っていてね! 応募締切 2023年5月9日(火)23:59まで ※その他応募に関する情報は、応募規約をご確認ください。</p>	<p>さらに!</p>	<p>CM原案エピソードも募集中!! 実話でも憧れでも夢でもOK! こんなシーン見たい!体験したい! 「ポカリな青春」エピソードを教えてね!YouTube・TikTokの対象動画にコメントお願いします!</p>

【CM 概要】

CM タイトル：「青が舞う」

放送開始：2023年4月7日(金)

※初回放送は

「ミュージックステーション 2 時間 SP」

(テレビ朝日系列、よる 8 時～)CM 枠にて

WebCM「青が舞う」65 秒

<https://www.youtube.com/watch?v=pA5q1PQVEWo>

※4月7日(金)21 時頃公開予定



WebCM



生きている味がする。

ION SUPPLY DRINK

**POCARI
SWEAT**

